

みなかぜの虹



NO.3

平成27年11月15日

南風小学校学校運営協議会

「みなかぜ・あったカード 第1号」!

9月から始めたコミュニティ・スクール第2弾「みなかぜ・あったカード」の取組について紹介します。

この「あったカード」というのは、地域で見られた子どもたちのよいところを保護者や地域の皆様に紹介していただくお手紙のことです。

その第一号が学校のポストに投函されていたので紹介します。

5年生 ○○さんへ

2年ほど前のことですが、娘が学校にノートを持っていくのを忘れたので、私が届けに行く途中、○○君が「それ、持っていきませんか。」と声をかけて、届けてくれました。とても助かりました。ありがとうございました。感心しました。



「コミュニティ・スクール キャラクター決定」!

前号でお知らせしていましたが、南風小学校がコミュニティ・スクールになったことを記念して、全校の子どもたちにコミュニティ・スクールのマスコット・キャラクターを募集しました。全部で102点の応募があり、どれも南風小の校門やひまわり栽培など、南風小らしさを感じる作品でした。

児童の総務委員会による第一次審査、全校児童の投票による第二次審査、学校運営協議会委員による最終審査を経て、最終的に3つの作品がマスコット・キャラクターに選ばれました。

では、それらの作品を紹介します。



「南子と風男」

5年 藤田 和夏奈さんの作品



「みなもん」

5年 榎田 昌己さんの作品



「レインくん」

6年 古川 滉士さんの作品

これらのキャラクターは、今後、コミュニティ・スクールとしてのいろいろな活動等に活用させていただきたいと思っております。ぜひお見知りおきを。

平成27年度のコミュニティ・スクールとしての事業 第3弾として、「ファミリー読書月間」を始めます。詳しくは、裏面をご覧ください。

コミュニティ・スクール事業第3弾 親と子の読書推進計画
「ファミリー読書月間」についてのお願い

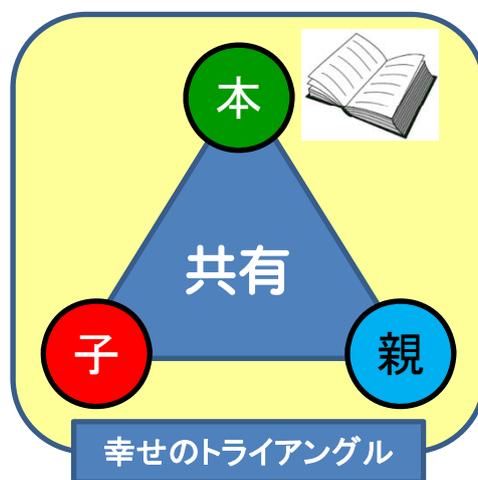
読書の秋、11月は読書月間です。子どもにとっての読書の効果は言うまでもなく、大人にとっても人生を豊かにしたり、自分の生き方を考えたりする上で大変意義のあるものと思います。学校においても、読書に関する様々な取組を進めていますが、読書習慣は家庭でのサポートなしには定着しないものです。

少々、かたくなりますが、「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、第六条に、「父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。」と定められているところです。

また、糸島市及び本校の学力に関する実態として、算数に比べて国語の学力が低く、特に言語事項と言われる「言葉のきまりや慣用句など」に課題があります。これらの課題を解消するためには、学校での国語の学習はもちろんですが、読書によって様々なジャンルの読み物にふれ、優れた文章を読む経験が必要です。

さらに、これまでご紹介してきたように、コミュニティ・スクールとして目指す「子どもの自己肯定感の向上」のためにも読書は有効だと考えています。

これは、「幸せのトライアングル」というもので、子どもと保護者が同じ時間や場、体験、感情を共有するために有効なのです。そのことで、自分の存在は家族から承認されていると感じ、自己肯定感が高まると考えられます。もちろん、「本」だけではなく、家庭の行事や映画・音楽鑑賞なども同様の効果をもたらします。



これらの理由から、コミュニティ・スクールとしての事業 第3弾として「ファミリー読書月間」の取組を行うことが、学校運営協議会で決定されました。では、どのような取組を進めるのかご紹介とお願いです。

1 目的

- 読書の楽しさを感じ、すぐれた文章・言葉にふれる。
- 読書を通じて家族とのコミュニケーションを図り、自己肯定感を高める。

2 方法

- ① 子どもが本を読み、学級や全校の友達に紹介したい本を選ぶ。
- ② 子どもが「うちどくカード」に、タイトルや感想(おすすめのポイント)、おすすめ度を記入する。
- ③ 保護者は、子どもが選んだ本を読み、子どもとその感想を語り合う。
- ④ 保護者は、「うちどくカード」の「かぞくからのコメント」を記入する。
- ⑤ 各学級担任に提出する。

3 気をつけて欲しいこと

- 方法の④が子どもの自己肯定感のためには大切です。お忙しいところですが、お時間をとってあげてください。
- 選ぶ本は、図書館でもご自宅でも、糸島市図書館など、どちらの本でもかまいません。
- 子どもの自主性を尊重し、子どもと話し合いながら、紹介する本を決めてください。
- 11月いっぱい、少なくとも「うちどくカード」1枚は取り組んでください。もちろん何枚書かれても結構です。大歓迎です。うちどくカードは、各教室等に掲示する予定です。